

開催日時:令和7年6月19日(木) 14時～
会場:荻川コミュニティセンター(分館2階会議室)

荻川コミ協:窪田会長、中村副会長、松本副会長、真田事務局長、荻川地区社協:関洋一代表、星副代表、関道子副代表、曾我スタッフ
荻川民協:中野会長、横山副会長、田辺副会長、風間会計、区老連荻川協議会:石野会長
自治会・町内会:田中会長(あおば通)、伊藤会長(荻島自治会)、倉島会長(中野連合)、地域包括支援センター新津:阿部管理者
(福)藤の木原福祉会:佐藤理事長、老健おぎの里:高地事務長、NPOあきはあすなろ会地域活動支援センターいしづえ:伊庭管理者
秋葉区社協:秋山事務局長補佐、佐藤(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	3 健康で豊かな地域づくり	1 組織のつながりの中でニーズ把握⇒全体での課題共有のために
①隣り近所で気かけ合い、声かけ合ってつながりを深めよう ■見守り ・となり組のつながりを大切にし合える地域づくり ・おぎかわあったかネットの拡充・継続(自治会・町内会、民生委員、協力員、老人クラブ等との連携) ・歳末見守り事業の配布物品について検討する(コミ協全体で揃えるか、社協が用意したものに町内独自で追加するか)	①子どもの見守りと居場所を拡充しよう ■子どもの居場所 ・コミセンですごしている子どもが増えているので今後も安心の場を提供したい ・荻川子ども食堂と川口ほうかご広場との連携の継続(再掲) ・子どもの居場所が拡大していくとよい	
②次世代を担うリーダーを発掘し、育てよう ■各町内行事等での人材発掘 ・町内の祭りほか交流事業を積極的に行い人材を見つける	②健康寿命を延ばして元気に暮らそう ■地域の居場所での交流(再掲) ・荻川やすらぎの間の参加者が増えるよう「広報おぎかわ」でPRを継続	
2 安全で安心な地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
①災害から身を守る意識と対応力を高めよう ■福祉事業所と地域との関係づくり ・地域と連携した防災に力を入れる(藤の木原福祉会) ・BCPの策定が重要である ・福祉避難所の認識を広げていく(要介護者の受け入れ等) ■自助・互助 ・個人の防災意識を高めることが重要 ・情報弱者への支援が必要	①相談先がわかりやすい周知方法を検討しよう ■相談先一覧表 ・相談先一覧表を有効に使う(コミ協・地区社協から全世帯へ配布済み) ■福祉事業所との連携 ・包括の役割をPRしたい(包括新津) ・包括新津に相談後のフィードバックがあるとよい	○自治会・町内会と民生委員との連携
②みんなで支え合い、助け合う荻川を目指そう ■見守り ・おぎかわあったかネットの拡充・継続(コミ協地区社協、見守り協力員、自治会・町内会、民生委員、老人クラブ等との連携)(再掲) ・おぎかわあったかネットは本人にも自治会・町内会にもメリットがあることをPRする(遠慮せず申し込みをしてもらうように) ・歳末見守り事業の配布物品について検討する(コミ協全体で揃えるか、社協が用意したものに町内独自で追加するか) ■緊急情報キット ・緊急情報キットの配布、情報更新の取り組みを継続(コミ協地区社協、全自治会・町内会との連携) ■地域の居場所 ・荻川やすらぎの間の参加者が増えるよう「広報おぎかわ」でPRを継続 ・荻川子ども食堂と川口ほうかご広場との連携の継続 ■認知症の理解 ・一般住民を対象にした認知症講演会を開催し、正しい理解を更に広げる ■福祉事業所と地域との関係づくり ・町内活動を知りつながりを深めるとともに町内へのPRを行う(いしづえ) ・地域の祭りや健康祭り、文化祭への参加(おぎの里) ・施設の祭り等で地域へ情報発信していく		